

ヘーゲル日本語文献目録
(2014年～2015年)

日本ヘーゲル学会文献資料委員会
松岡 健一郎・早瀬 明 編

凡例

1 この文献目録は、2014年1月から2015年12月までに日本で公表された、ヘーゲルに関する文献を可能な限り網羅的に収集しており、日本ヘーゲル学会文献資料委員会・碓智樹編「ヘーゲル日本語文献目録 (2012年～2013年)」の続編である。

2 文献の配列は次のようになっている。I ヘーゲル自身の著作の日本語訳、II ヘーゲルに関する研究文献、III ヘーゲルに関する研究文献の書評、IV ヘーゲル研究の動向紹介、V ヘーゲルに関する文献目録、VI ヘーゲルに関する研究資料。さらにIIに関しては、A 研究書、B 雑誌・紀要および論文集掲載論文、C 外国語研究論文の日本語訳の順で三つに区分してある。但し、複数名の共同執筆者による論文集等は、AとBの両方に重複して記載されている場合がある。

3 上記の各分野における文献は、まず刊行年ごとに区分したうえで、著者名の五十音順で配置してある。

4 各文献のデータ項目は、単行本に関しては、著者名(または訳者名)、題名、出版元の名称、刊行年の順で記載しており、雑誌・紀要等掲載論文に関しては、著者名、論文の題名、掲載雑誌の名称、巻数・号数、刊行年、掲載頁の順で記載してある。巻数・号数に関して、例えば15巻4号であれば、15(4)と表記した。

5 ヘーゲルに関するものであっても、随筆類、また事典の項目や哲学史関連の著作に含まれる章節、学会発表要旨・レジュメ、新聞記事等は正確な情報収集が困難なため掲載を割愛したことがある。

I ヘーゲル自身の著作の日本語訳

〈2014年〉

G・W・F・ヘーゲル	ヘーゲル著『ドイツ国制論』訳と註(2)(早瀬明訳)、83、	研究論叢(京都外国語大学国際言語平和研究所編)、	83、	###	、p p.291~302.
G・W・F・ヘーゲル	翻訳 シュトゥットガルトの若きヘーゲル1785-88年：『日記』、作文、手紙(福田静夫訳)、	現代と文化：日本福祉大学研究紀要(日本福祉大学福祉社会開発研究所編)、	129、	###	、p p.37~117.

〈2015年〉

G・W・F・ヘーゲル	G・W・F・ヘーゲル 主観的な精神の哲学のための断章(一八二二~一八二五年)(栗原隆、高畑菜子訳)、	知のトポス：世界の視点(新潟大学大学院現代社会文化研究科 共同研究プロジェクト「世界の視点をめぐる思想史的研究」新潟大学人文学部哲学・人間学研究会編)、	10、	2015	、p p.1~48.
G・W・F・ヘーゲル	G・W・F・ヘーゲル「精神の哲学」についての講義(ベルリン一八二七年/二八年冬学期)(栗原隆訳)、	知のトポス：世界の視点(新潟大学大学院現代社会文化研究科 共同研究プロジェクト「世界の視点をめぐる思想史的研究」新潟大学人文学部哲学・人間学研究会編)、	10、	2015	、p p.49~101.
G・W・F・ヘーゲル	ヘーゲル著『ドイツ国制論』訳と註(3)(早瀬明訳)、	研究論叢(京都外国語大学国際言語平和研究所編)、	86、	2015	、p p.189~206.

II ヘーゲルに関する研究文献

A 研究書

〈2014年〉

犬塚元 責任編集	岩波講座 政治哲学2 啓蒙・改革・革命、	岩波書店、		###	
岩波哲男	ヘーゲル宗教哲学入門、	理想社、		2014	
海老澤善一	ヘーゲル『大論理学』、	晃洋書房、		2014	
加藤尚武 [ほか] 編	ヘーゲル事典(縮刷版)、	弘文堂、		2014	
黒沢惟昭	現代市民社会の教育学：ヘーゲル、マルクス、グラムシ思想の視点から、	明石書店、		2014	
杉田敦・川崎修 編著	西洋政治思想資料集、	法政大学出版局、		###	
中野眞	ヘーゲルの反省論：自立と矛盾、	西田書店、		2014	
尼寺義弘・牧野広義・藤井政則 編著	経済・環境・スポーツの正義を考える、	文理閣、		2014	

山内廣隆	ヘーゲルから考える私たちの居場所、	晃洋書房、	2014
吉本隆明	ヘーゲルについて/廣松渉の国家論・唯物史観、	猫々堂、	2014
〈2015年〉			
石井基博	ヘーゲル法哲学が目指したもの：「体系としての人倫」・自由・国家、	晃洋書房、	2015
権左武志 編	ドイツ連邦主義の崩壊と再建——ヴァイマル共和国から戦後ドイツへ、	岩波書店、	###
澤田章	ヘーゲル〔新装版〕、	清水書院(人と思想 17)、	2015
高村是懿	ヘーゲル「精神現象学」を学ぶ：科学的社会主義の立場から、	一粒の麦社(広島県労働者学習協議会編)、	2015
高柳良治	ヘーゲルの社会経済思想、	こぶし書房、	2015
寄川条路	今泉六郎：ヘーゲル自筆本を日本にもたらした陸軍獣医、	ナカニシヤ出版、	2015

B 雑誌・紀要および論文集掲載論文

〈2014年〉

赤石憲昭	ヘーゲルの男女親・子ども親をどう捉えるか?：ヘーゲル家族論の再検討(特集 現代の危機と『法の哲学』) -- (シンポジウム 現代の危機に 대응するヘーゲル：その『法哲学』的処方箋)、	ヘーゲル哲学研究(日本ヘーゲル学会編)、	20、	2014	、p.10~23.
阿部ふく子	ヘーゲルの思弁哲学における命題・叙述・言語、	思索(座小田豊先生 御退職記念号)(東北大学哲学研究会編)、	47、	2014	、p.271~287.
飯泉佑介	ヘーゲル『精神現象学』における「欲望の経験」再考、	東京大学大学院人文社会系研究科・文学部哲学研究室論集(東京大学大学院人文社会系研究科編)、	33、	2014	、p.105~118.
池松辰男	人間精神の自立：ヘーゲルにおける主観的精神論の形成と意義、	倫理学紀要(東京大学大学院人文社会系研究科編)、	22、	2014	、p.143~166.
伊坂青司	ヘーゲル歴史哲学の原型と変容：「世界史の哲学」初回講義(一八二二/二三年)を中心に、	思想(岩波書店)、	1086、	2014	、p.133~157.
石井基博	近代自然法(理性法)理論の限界と人倫：ヘーゲル法哲学が目指したもの、	同志社哲学年報(Societas Philosophiae Doshisha編)、	37、	2014	、p.135~151.
大河内泰樹	思想のフロンティア 規範・欲望・承認：ピピン、マクダウェル、ブランドムによるヘーゲル『精神現象学』「自己意識章」の規範的解釈、	唯物論研究年誌(大月書店)、	19、	2014	、p.178~191.
太田洪量	やさしい共産主義批判・克服の展開(2)ヘーゲル弁証法を批判しながら借用したマルクスの欺瞞、	世界思想(世界思想出版)、	40(6)、	2014	、p.46~49.
大橋基	官僚倫理と不偏性請求：ヘーゲル『法の哲学』「国家」論によせて(特集 現代の危機と『法の哲学』) -- (シンポジウム 現代の危機に 対応するヘーゲル：その『法哲学』的 処方箋)、	ヘーゲル哲学研究(日本ヘーゲル学会編)、	20、	2014	、p.34~44.
大橋基	「戦争」の倫理と「平和」の技法：ヘーゲル『法の哲学』における「国家」論によせて、	法政大学文学部紀要(法政大学文学部編)、	70、	2014	、p.45~58.
岡崎秀二郎	ヘーゲルの措定的反省、	東京大学大学院人文社会系研究科・文学部哲学研究室論集(東京大学大学院人文社会系研究科編)、	33、	2014	、p.90~104.
岡崎龍	ヘーゲル『精神現象学』における否定性の問題：ヴォルフガング・ボンジーベン『ヘーゲルのイェナ期論考における否定性の概念』を読む、	クアドランテ(東京外国語大学海外事情研究所編)、	16、	2014	、p.265~274.

小川真人	ヘーゲルと自然美学 (特集 現代の危機と『法の哲学』) -- (シンポジウム 自然美の哲学: 自然美学の哲学的批判から環境美学の構築へ)、	ヘーゲル哲学研究 (日本ヘーゲル学会編)、	20、	2014	、p p.72~82.
堅田研一	D・コーネルの脱構築的法哲学について: 法における倫理性の問題、	法哲学年報 (有斐閣)、		2014	、p p.169~181.
堅田剛	若きヘーゲルの宗教論、あるいは「律法」と「道徳」の弁証法、	独協法学 (獨協大学法学会編)、	94、	2014	、p p.25~56.
堅田剛	若きヘーゲルの《国制》論: 『ドイツ憲法論』をめぐる、	独協法学 (獨協大学法学会編)、	95、	2014	、p p.1~30.
加藤泰史	現代ドイツの自然美学 (特集 現代の危機と『法の哲学』) -- (シンポジウム 自然美の哲学: 自然美学の哲学的批判から環境美学の構築へ)、	ヘーゲル哲学研究 (日本ヘーゲル学会編)、	20、	2014	、p p.83~96.
神山伸弘	宗教的ファナティズムの非インド的理想定: ヘーゲル『法の哲学』第五節とミュンスター再洗礼派王、	跡見学園女子大学人文学フォーラム (跡見学園女子大学編)、	12、	2014	、p p.52~65.
神山伸弘	ヘーゲル哲学における《自由》の《経験》、	跡見学園女子大学文学部紀要 (跡見学園女子大学編)、	49、	2014	、p p.81~96.
川崎誠	「論理的構文論」とヘーゲル論理学、	理想 (理想社)、	692、	2014	、p p.154~168.
川瀬和也	判断と正当化: ヘーゲル『大論理学』の判断論、	哲学雑誌 (有斐閣)、	129(801)	2014	、p p.112~130.
川瀬和也	現実性と「概念の生成」 (特集 現代の危機と『法の哲学』) -- (シンポジウム 『大論理学』本質論刊行二〇〇周年記念「本質論から概念論へ: 「現実」章の検討)、	ヘーゲル哲学研究 (日本ヘーゲル学会編)、	20、	2014	、p p.113~127.
久保陽一	理想の現在性: ヘーゲル『精神の現象学』における道徳性の問題、	駒澤大学総合教育研究部紀要 (駒澤大学編)、	8、	2014	、p p.37~64.
栗原隆	ドイツ観念論におけるスピノザ主義: ヘーゲルの、失われた「フィッシュハーバー批評」、 「ヘルダー批評」に照らして (スピノザというトラウマ)、	思想 (岩波書店)、	1080、	2014	、p p.180~199.
黒沢惟昭	社会主義の再生 ヘーゲル、マルクス、グラムシ: 「具体的・普遍」を視軸に (特集 国家論)、	情況 (情況出版)、	3(1)、	2014	、p p.105~118.
小井沼広嗣	道徳的行為主体による悪とその克服: 『精神現象学』における良心	ヘーゲル哲学研究 (日本ヘーゲル学会編)、	20、	2014	、p p.145~15
権左武志	ヘーゲル——啓蒙と革命の間の政治哲学、	岩波講座 政治哲学2 啓蒙・改革・革命 (犬塚元責任編集、岩波書店)、	###		、p p.223~24
権左武志	ゲオルク・ヴィルヘルム・フリードリヒ・ヘーゲル、	西洋政治思想資料集 (杉田敦・川崎修編)、	###		、p p.190~19
権左武志	日本ナショナリズムの呪縛とその克服——丸山真男のナショナリズム論とドイツ思想、	現代思想 (8月臨時増刊号)、	###		、p p.64~75.
酒匂一郎	ワークショップ概要 ヘーゲルと市民法学・立憲主義・共和主義: 「マルクス主義市民法学」でもなく「近代主義市民法学」でもなく、	法哲学年報 (有斐閣)、		2014	、p p.158~161.
座小田豊	無限性と否定性: ヘーゲルのイェーナ体系構想における「精神哲学」の成立、	思索 (座小田豊先生 御退職記念号) (東北大学哲学研究会編)、	47、	2014	、p p.1~25.
佐山圭司	現代の貧困問題と市民社会の役割 (特集 現代の危機と『法の哲学』) -- (シンポジウム 現代の危機に答えるヘーゲル: その『法哲学』的処方箋)、	ヘーゲル哲学研究 (日本ヘーゲル学会編)、	20、	2014	、p p.24~33.

色摩泰匡	ヘーゲル『法哲学要綱』における「福祉行政」：社会的自由の導出論理、	一橋研究(一橋研究編集委員会編)、	39(2)、	2014	、p p.35~48.
色摩泰匡	ヘーゲルの社会哲学：新自由主義への対抗の思想(特集 研究が おもしろい!(Part 5)大学院生の研究最前線)、	日本の科学者(日本科学者会議編)、	49(6)、	2014	、p p.310~315.
島崎隆	ヘーゲル研究のあり方に想う、	ヘーゲル哲学研究(日本ヘーゲル学会編)、	20、	2014	、pp.5~9.
下城一	ヘーゲルの『法哲学』：その成立の背景(7)惑星軌道論(後編)、	横浜国立大学教育人間科学部紀要(横浜国立大学教育人間科学部編)、	3、	2014	、p p.27~45.
杉田孝夫	シンポジウム総括(特集 現代の危機と『法の哲学』)--(シンポジウム 現代の危機に応えるヘーゲル：その『法哲学』的処方箋)、	ヘーゲル哲学研究(日本ヘーゲル学会編)、	20、	2014	、p p.55~58.
鈴木亮三	「所有の運命」の行方：フランクフルト・イエーナ期ヘーゲル哲学生成の一断面、	思索(座小田豊先生 御退職記念号)(東北大学哲学研究会編)、	47、	2014	、p p.333~354.
高橋紀穂	労働と言語：普遍経済学における、	太成学院大学紀要(太成学院大学編)、	16、	2014	、p p.167~175.
高山守	シンポジウム総括(特集 現代の危機と『法の哲学』)--(シンポジウム『大論理学』本質論刊行二〇〇周年記念「本質論から概念論へ：「現実」章の検討)、	ヘーゲル哲学研究(日本ヘーゲル学会編)、	20、	2014	、p p.141~144.
瀧本有香	シェリングとヘーゲル：その芸術観と芸術の地位、	哲学世界(早稲田大学大学院文学研究科哲学専攻)、	37、	2014	、p p.39~51.
竹島あゆみ	承認と社会：ヘーゲル市民社会論の形成と発展、	岡山大学文学部紀要(岡山大学文学部編)、	62、	2014	、p p.1~18.
徳増多加志	絶対的相関と概念をつなぐ論理：ヘーゲル論理学の基本構想の側面(特集 現代の危機と『法の哲学』)--(シンポジウム『大論理学』本質論刊行二〇〇周年記念「本質論から概念論へ：「現実」章の検討)、	ヘーゲル哲学研究(日本ヘーゲル学会編)、	20、	2014	、p p.101~112.
中畑邦夫	ヘーゲルのソクラテス論：その悲劇性および喜劇性、	麗沢学際ジャーナル(麗沢大学経済学会編)、	22(1)、	2014	、p p.43~57.
日暮雅夫	フランクフルト学派における「市民社会」の問題：ハーバーマスとホネット(特集 現代の危機と『法の哲学』)--(シンポジウム 現代の危機に応えるヘーゲル：その『法哲学』的処方箋)、	ヘーゲル哲学研究(日本ヘーゲル学会編)、	20、	2014	、p p.45~54.
平山敬二	環境美学と環境倫理：自然再生の問題を巡って(特集 現代の危機と『法の哲学』)--(シンポジウム 自然美の哲学：自然美学の哲学的批判から環境美学の構築へ)、	ヘーゲル哲学研究(日本ヘーゲル学会編)、	20、	2014	、p p.59~71.
星野太	アイロニーの概念：ヘーゲル、キルケゴール、ド・マン(特集 キルケゴール)--(現代思想の源泉としてのキルケゴール)、	現代思想(青土社)、	42(2)、	2014	、p p.120~131.
牧野広義	ヘーゲル論理学における矛盾論・再考、	唯物論と現代(文理閣)、	51、	2014	、p p.98~113.
牧野広義	、ヘーゲル論理学における必然性と自由	阪南論集. 人文・自然科学編(阪南大学学会編)、	50(1)、	2014	、p p.1~18.
松下晴彦	1903年から1915年のデューイによるヘーゲル解釈とその批判、	名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要. 教育科学(名古屋大学大学院教育発達科学研究科編)、	61(2)、	2014	、p p.43~51.
松田博	グラムシ『獄中ノート』における「科学的・哲学言語の翻訳可能性」の諸相、	立命館産業社会論集(立命館大学編)、	50(1)、	2014	、p p.257~267.
松村健吾	ヘーゲル『ドイツ憲法論』の研究、	大東文化大学紀要. 人文科学(大東文化大学編)、	52、	2014	、p p.49~70.

嶺岸佑亮	ヘーゲル哲学における主体性と精神の自己知について、	文化(東北大学文学会編)、	77(3)、	2014	、p p.211~194.
嶺岸佑亮	「定立されていること」と自らを根拠とすること：ヘーゲル論理学における現実性について、	ヘーゲル哲学研究(日本ヘーゲル学会編)、	20、	2014	、p p.158~171.
美馬孝人	富と貧困について：ヘーゲルとマルクス(小林真之教授退職記念号)、	北海学園大学経済論集(北海学園大学経済学会編)、	61(4)、	2014	、p p.59~80.
宮永孝	明治・大正期のヘーゲル、	社会志林(法政大学社会学部学会編)、	61(1)、	2014	、p p.324~172.
山内清	ヘーゲルの「即自-向自-即自かつ向自」論理、	鶴岡工業高等専門学校研究紀要(鶴岡工業高等専門学校編)、	48、	2014	、p p.1~10.
山口誠一	ヘーゲル『精神現象学』「序説」第14節~第16節の解明、	法政大学文学部紀要(法政大学文学部編)、	69、	2014	、p p.13~24.
山田忠彰	シンポジウム総括(特集 現代の危機と『法の哲学』)--(シンポジウム 自然美の哲学：自然美学の哲学的批判から環境美学の構築へ)、	ヘーゲル哲学研究(日本ヘーゲル学会編)、	20、	2014	、p p.97~100.
山田有希子	ヘーゲルにおける言葉と論理：『論理学』の課題から、	宇都宮大学教育学部紀要(宇都宮大学編)、	1(64)、	2014	、p p.63~76.
山脇雅夫	他在における絶対者の臨在：「本質論」から「概念論」へ(特集 現代の危機と『法の哲学』)--(シンポジウム『大論理学』本質論刊行二〇〇周年記念「本質論から概念論へ：「現実」章の検討)、	ヘーゲル哲学研究(日本ヘーゲル学会編)、	20、	2014	、p p.128~140.
(2015年)					
荒井正雄	西田とヘーゲル：ヘーゲルの弁証法＝絶対者の自己展開と西田哲学＝一般者の自己限定の理論的相関性、	哲学と教育(船尾日出志教授 退職記念号)(愛知教育大学哲学会編)、	63、	###	、p p.25~44.
池田成一	中期フョイエルバッハのキリスト教批判におけるヘーゲルの継承と批判(特集 時代を超えるヘーゲル)--(シンポジウム フョイエルバッハとヘーゲル：宗教をめぐる対話)、	ヘーゲル哲学研究(日本ヘーゲル学会編)、	21、	2015	、p p.39~50.
石井基	フヒテとヘーゲルの国家論の差異——『自然法の基礎』と『法の哲学』を中心に——、	フヒテ研究(日本フヒテ協会編)、	23、	###	、p p.79~92.
伊藤功	ヘーゲルと一者論(特集 時代を超えるヘーゲル)--(シンポジウム ヘーゲルと新プラトン主義)、	ヘーゲル哲学研究(日本ヘーゲル学会編)、	21、	2015	、p p.80~92.
大河内泰樹	ヘーゲルとプラグマティズム、	思想(岩波書店)、	1100、	2015	、p p.94~107.
大河内泰樹	真理と規範：カント的プラグマティズムからヘーゲル的プラグマティズムへ(特集 いまなぜプラグマティズムか)、	現代思想(青土社)、		2015	、p p.208~223.
大田孝太郎	ヘーゲル『精神現象学』Vorredeの考察、	広島経済大学研究論集(広島経済大学経済学会編)、	37(4)、	2015	、p p.25~44.
大竹信行	近代家族の哲学的基盤：プロイセンの家族変容とヘーゲル法哲学、	高崎商科大学紀要(高崎商科大学メディアセンター編)、	30、	2015	、p p.75~80.
大橋 基	「愛国心」の源泉と「君主」の威厳：ヘーゲル『法の哲学』における「国家」論によせて、	法政大学文学部紀要(法政大学文学部編)、	72、	2015	、p p.31~45.
岡崎佑香	ヘーゲルの自立論再考：ケア論の新展開に向けて、	女性学：日本女性学会学会誌(日本女性学会編)、	23、	###	、p p.48~63.
岡崎龍	ヘーゲル『精神現象学』における批判の問題：ウィリアム・プリストウ『ヘーゲルと哲学的批判の変容』を読む、	クアドランテ(東京外国語大学海外事情研究所編)、	17、	2015	、p p.165~174.

柿崎有美	J.イポリットのヘーゲル読解とメルロ=ポンティ、	Caritas(カリタス女子短期大学編)、49、	2015	、p p.8~18.
堅田剛	ヘーゲルの《点》、あるいは立憲君主制について：《点》とは何か、	独協法学(獨協大学法学会編)、96、	2015	、p p.147~179.
加藤尚武	同一性の変貌と発展(特集 時代を超えるヘーゲル) -- (シンポジウム ヘーゲルと新プラトン主義)、	ヘーゲル哲学研究(日本ヘーゲル学会編)、21、	2015	、p p.105~117.
門脇健	ガイストの帰還：カントの夢とヘーゲルの白昼、	哲学論集(大谷大学哲学会編)、61、	2015	、p p.1~17.
金谷義弘	現代社会科学と方法の問題(1)諸現象の動態的把握とヘーゲル論理学有論の基本構成の意味、	宮崎大学教育文化学部紀要. 社会科学(宮崎大学教育文化学部編)、32、	2015	、p p.1~41.
神山伸弘	ヘーゲルの絵画体験資料源泉ノート：ヘーゲルの所蔵本から、	跡見学園女子大学人文学フォーラム(跡見学園女子大学編)、13、	2015	、p p.143~134.
神山伸弘	「向一存在」なるもの：ヘーゲル『論理学』におけるfürの理解をめぐって、	コミュニケーション文化(跡見学園女子大学編)、9、	2015	、p p.88~117.
河上睦子	フョイエルバッハ後期思想の可能性：「身体」と「食」の構想(特集 時代を超えるヘーゲル) -- (シンポジウム フョイエルバッハとヘーゲル：宗教をめぐる対話)、	ヘーゲル哲学研究(日本ヘーゲル学会編)、21、	2015	、p p.51~63.
川崎誠	ヘーゲル、マルクス、ソシュールそしてウイトゲンシュタイン(1)「論理的構文論」による「ムーア」読解、	人文科学年報(専修大学人文科学研究所編)、45、	2015	、p p.107~156.
川本隆	ヘーゲルの思弁と初期フョイエルバッハの汎神論：スピノザ、ベーム、ライブニッツの解釈をめぐって(特集 時代を超えるヘーゲル) -- (シンポジウム フョイエルバッハとヘーゲル：宗教をめぐる対話)、	ヘーゲル哲学研究(日本ヘーゲル学会編)、21、	2015	、p p.64~75.
北原寛子	ディルタイのヘーゲル小説理論受容：19世紀におけるBildungsroman概念展開についての一考察、	小樽商科大学人文研究(高橋純名誉教授記念号)(小樽商科大学編)、130、	2015	、p p.139~158.
久保陽一	関係の根源性——ドイツ観念論における関係の存在論の展開、	哲学雑誌(有斐閣)、130(82) ###		、 pp.136~158.
久保陽一	ペグラーが遺したものの、	ヘーゲル哲学研究(日本ヘーゲル学会編)、21、	2015	、pp.5~8.
栗原隆	若きヘーゲルと心理学：「導入教育」もしくは「精神哲学」への旅立ち、	人文科学研究(新潟大学人文学部編)、137、	2015	、p p.T1~T25.
小島優子	ヘーゲルの『美学講義』における「内的なもの」の「外的なもの」への現れについて、	高知大学学術研究報告(高知大学編)、64、	2015	、p p.31~40.
小島優子	提題『精神現象学』における行為論について：人倫的行為と実体(日本倫理学会第六十五回大会主題別討議報告) -- (ヘーゲルと現代)、	倫理学年報(日本倫理学会編)、64、	2015	、p p.56~59.
後藤正英	ヤコービの哲学小説『ヴォルデマール』における相互承認論：ヘーゲル『精神現象学』との対比に基づく考察、	ヘーゲル哲学研究(日本ヘーゲル学会編)、21、	2015	、p p.122~132.
権左武志	現代日本はヘーゲルから何を学べるか、	松山大学地域研究ジャーナル(松山大学総合研究所編)、6、	###	、pp.2~8.
座小田豊	承認と労働：ヘーゲルの『イェーナ精神哲学』における「媒語」の意義について、	ヨーロッパ研究(東北大学大学院国際文化研究科ヨーロッパ文化論講座編)、10、	2015	、p p.51~74.
真田美沙	量における質の回復について：ヘーゲル『大論理学』における「定量の無限性」を中心に、	ヘーゲル哲学研究(日本ヘーゲル学会編)、21、	2015	、p p.133~146.
柴田隆行	井上円了とヘーゲル、	井上円了センター年報(東洋大学井上円了研究センター編)、24、	2015	、p p.45~63.

柴田隆行	ヘーゲル絵画論テキストの異同、	東洋大学社会学部紀要(東洋大学社会学部編)、	53(1)、	2015	、p p.5~19.
渋谷繁明	提題 現代行為論とヘーゲル哲学(日本倫理学会第六十五回大会主題別討議報告)―(ヘーゲルと現代)、	倫理学年報(日本倫理学会編)、	64、	2015	、p p.53~56.
嶋田義仁	存在と無、普遍の人間(オム)と理性、	名古屋大学文学部研究論集(嶋田義仁教授 退職記念)(名古屋大学文学部編)、	61、	2015	、p p.173~184.
下城一	ヘーゲルの『法哲学』:その成立の背景(8)懐疑主義の哲学との関係(前篇)、	横浜国立大学教育人間科学部紀要. III、社会科学(横浜国立大学教育人間科学部編)、	17、	###	、p p.19~38.
白川星而	新しい《家族学》のススメ(1)プロローグ 結婚を人格の解放と見なしたヘーゲル、	世界思想(世界思想出版)、	41(4)、	2015	、p p.36~39.
白川星而	新しい《家族学》のススメ(2)続・プロローグ ヘーゲルの宗教的結婚観を敵視したマルクス、	世界思想(世界思想出版)、	41(5)、	2015	、p p.38~41.
高橋一行	ヘーゲルの他者論(上)、	政経論叢(明治大学政治経済研究所編)、	83(3)、	2015	、p p.349~380.
高橋一行	ヘーゲルの他者論(下)、	政経論叢(明治大学政治経済研究所編)、	83(5)、	2015	、p p.477~500.
竹島あゆみ	ただ愛の中でのみひとは客体と一つになる:初期ヘーゲル思想とヘルダーリン(1)、	岡山大学文学部紀要(岡山大学文学部編)、	63、	2015	、pp.1~9.
竹島尚仁	ヘーゲル『論理学』本質論における「交互作用」の射程(上)、	岡山大学大学院社会文化科学研究科紀要(岡山大学大学院社会文化科学研究科編)、	39、	2015	、p p.233~247.
高山守	「自由」をめぐる西田とヘーゲル(特集 ドイツ哲学と日本の哲学)、	日本の哲学(日本哲学史フォーラム編)、	16、	2015	、p p.30~45.
滝口清榮	シンポジウム総括(特集 時代を超えるヘーゲル)―(シンポジウム フォイエルバッハとヘーゲル:宗教をめぐる対話)、	ヘーゲル哲学研究(日本ヘーゲル学会編)、	21、	2015	、p p.76~79.
中島秀憲	ヘーゲルが目指す人倫的共同体:『信仰と知』におけるヤコービ批判を通して、	九州産業大学国際文化学部紀要(九州産業大学国際文化学会編)、	60、	2015	、p p.41~67.
尼寺義弘	ヘーゲル『法の哲学』の「欲求の体系」の『講義録』の比較・分析(1)、	阪南論集. 人文・自然科学編(阪南大学学会編)、	51(1)、	2015	、p p.31~52.
新田滋	唯物史観と範疇模写説:ヘーゲル・マルクスと宇野弘蔵の方法論を繋ぐミッシング・リンク、	社会科学年報(専修大学社会科学研究所編)、	49、	2015	、p p.193~218.
野尻英一	提題 行為、意識、自然:ヘーゲル倫理学のアクチュアリティ(日本倫理学会第六十五回大会 主題別討議報告)―(ヘーゲルと現代)、	倫理学年報(日本倫理学会編)、	64、	2015	、p p.59~62.
濱良祐	制度化と自由:A・ホネットの『法哲学』解釈についての考察、	ヘーゲル哲学研究(日本ヘーゲル学会編)、	21、	2015	、p p.147~159.
早川健治	科学史を哲学的に研究する方法について:クーン・コリンウッド・ヘーゲル、	アリーナ(人間社)、	18、	2015	、p p.259~268.
早瀬明	ヘーゲル『ドイツ国制論』を貫く主権への問い(前篇)ボダン、プーフェンドルフとヘーゲル、	研究論叢(京都外国語大学国際言語平和研究所編)、	85、	2015	、p p.97~114.
牧野広義	ヘーゲルとスポーツ哲学、	阪南論集. 人文・自然科学編(阪南大学学会編)、	51(1)、	2015	、p p.1~12.
牧野広義	ヘーゲルにおける意志の自由と社会的自由、	阪南論集. 人文・自然科学編(阪南論集創刊50巻記念論文集)(阪南大学学会編)、	50(2)、	2015	、p p.65~79.
松岡健一郎	マクダウェルの言う「ヘーゲル」とは、どんな哲学者なのか	哲学論究(同志社大学哲学会編)、	29、	###	、p p.41~54.
満井裕子	哲学の言葉 ― ヘーゲルの「精神」について、	実践女子大学CLEIPジャーナル(実践女子大学編)、	1、	2015	、p p.105~115.

矢島義英	イエーナ期ヘーゲルのシュライ アーマッハー受容とその超克、	同志社哲学年報 (Societas Philosophiae 38、 Doshisha編)、	2015	、p p.78~95.
安酸敏真	「永遠の契約」か、それとも「和解」 か? : キリスト教信仰と学問研究を めぐるシュライアマハーとヘーゲ ルの対立、	北海学園大学人文論集(退職記念 井上 真蔵 池内静司教授) (北海学園大学人 文学会編)、	2015	、p p.29~52.
山岸喜久治	青年ヘーゲルにおける憲法と人権 の視点: フランクフルト時代の政 治評論から、	人文社会科学論叢(宮城学院女子大学 編)、	2015	、p p.143~15 4.
山口誠一	ヘーゲル『精神現象学』「序説」第 20節~第22節の解明、	法政大学文学部紀要(法政大学文学部 編)、	2015	、p p.1~12.
山口誠一	ヘーゲル『精神現象学』「序説」: 第23節~第24節の解明、	法政大学文学部紀要(法政大学文学部 編)、	2015	、p p.1~10.
山口誠一	シンポジウム総括(特集 時代を超 えるヘーゲル) — (シンポジウム ヘーゲルと新プラトン主義)、	ヘーゲル哲学研究(日本ヘーゲル学会 編)、	2015	、p p.118~12 1.
山口誠一	趣旨(日本倫理学会第六十五回 大会 主題別討議報告) — (ヘーゲ ルと現代)、	倫理学年報(日本倫理学会編)、	2015	、p p.51~53.
山口邦夫	不法と責任との分離的思考の源 流: イェーリングのヘーゲル解釈 を端緒に、	駒澤法学(法学部創立50周年記念号) 14(2)、 (駒澤大学法学部編)、	2015	、p p.137~15 3.
山口義久	プロティノス発出論のDialektik(特 集 時代を超えるヘーゲル) — (シ ンポジウム ヘーゲルと新プラトン 主義)、	ヘーゲル哲学研究(日本ヘーゲル学会 編)、	2015	、p p.93~104.
山崎純	ヘーゲル歴史哲学の実像に迫る: 新資料に基づく最終学期の構想、	思索(東北大学哲学研究会編)、	2015	、p p.23~55.
山本愛	A. ルーゲにおける「国家」と「自 由」: ルーゲの書簡等を手がかり として、	ヨーロッパ研究(東北大学大学院国際文 化研究科ヨーロッパ文化論講座編)、	2015	、p p.293~31 1.
吉岡亮	内田魯庵『文学一斑』における ヘーゲル — その典拠とドラマ論 —、	札幌大谷大学社会学部論集(札幌大谷 大学・札幌大谷大学短期大学部編)、	2015	、p p.133~15 0.
吉田達	無限判断を、無限性を意識しながら 読む: ヘーゲル『精神現象学』に おける「無限判断」素描、	ヨーロッパ研究(東北大学大学院国際文 化研究科ヨーロッパ文化論講座編)、	2015	、p p.99~123.
寄川条路	日本で発見されたヘーゲルの自 筆書き込み本について、	ヘーゲル哲学研究(日本ヘーゲル学会 編)、	2015	、p p.180~18 7.
C 翻訳				
(2014年)				
チャールズ・テイラー	ヘーゲルと近代社会(渡辺義雄 訳)、	岩波書店(オンデマンド版)、	2014	
ミヒャエル・パヴリック	ジャン・ジャック・ルソーの政治哲 学に対するヘーゲルの批判(川口 浩一(監訳)山下裕樹(訳))、	関西大学法学論集(関西大学法学会 編)、	2014	、p p.261~28 6.
エッカート・フェルスター	カント以後の哲学の展開にとつて の『判断力批判』第七六~七七節 の意義(第2部)(宮崎祐助、大熊 洋行訳)、	知のトポス: 世界の視点(新潟大学大 学 9、 院現代社会文化研究科「世界の視点をめ ぐる思想史的研究」プロジェクト編)、	###	、p p.133~18 7.
ダニエル・ブリーゼール、 重川成美、栗原隆	講演 良心に対抗? ヘーゲル派の 批判に対するフィヒテ派の返答(重 川 成美、栗原 隆訳)、	知のトポス: 世界の視点(新潟大学大 学 9、 院現代社会文化研究科「世界の視点をめ ぐる思想史的研究」プロジェクト編)、	2014	、p p.227~26 1.
マルクス	ユダヤ人問題に寄せて; ヘーゲ ル法哲学批判序説(中山元訳)、	光文社(光文社古典新訳文庫)、	2014	
ジェローム・レーブル	ジェローム・レーブル来日公演: リ オータルとヘーゲル — 争異と弁 証法的差異(川口浩一監訳, 山下 裕樹訳)、	人文学報. フランス文学(首都大学東京 都市教養学部人文・社会系 首都大学東 京人文科学研究科編)、	2014	、p p.41~68.
(2015年)				
ミヒャエル・クヴァンテ	行為は現実性である: ヘーゲルの 帰属主義的・プラグマティズム的 現実性概念(大河内泰樹訳)、	ヘーゲル哲学研究(日本ヘーゲル学会 編)、	2015	、p p.22~38.

クラウス・フィーヴェーク	講演 ヘーゲルのシシリアン・ディ フェンス：本質の論理学の形而上 学、懐疑主義、超越論的哲学に対 する関係(岡崎秀二郎訳)、	ヘーゲル哲学研究(日本ヘーゲル学会 編)、	21、	2015	、p p.9~21.
カール・レーヴィット	ヘーゲルからニーチェへ：十九世 紀思想における革命的断絶(三島 憲一訳)、	岩波書店(岩波文庫)、	21、	2015	
フランツ・ローゼンツ ヴァイク	ヘーゲルと国家(村岡晋一、橋本 由美子訳)、	作品社、		2015	
オットー・ペゲラー編	ヘーゲル講義録研究(寄川条路監 訳)、	法政大学出版局、		2015	

Ⅲ ヘーゲルに関する研究文献の書評

〈2014年〉

笠原賢介	啓蒙の弁証法の「定め」と行方 (合評会 栗原隆著『ドイツ観念論 からヘーゲルへ』)、	ヘーゲル哲学研究(日本ヘーゲル学会 編)、	20、	2014	、p p.177~18 1.
高橋一行	評論(合評会 黒崎剛著『ヘーゲ ル・未完の弁証法』)、	ヘーゲル哲学研究(日本ヘーゲル学会 編)、	20、	2014	、p p.187~19 1.
田中朋弘	書評 石崎嘉彦『政治哲学と対話 の弁証法：ヘーゲルとレオ・シュト ラウス』、	倫理学研究(関西倫理学会編)、	44、	2014	、p p.179~18 2.
田端信廣	評論(合評会 栗原隆著『ドイツ観 念論からヘーゲルへ』)、	ヘーゲル哲学研究(日本ヘーゲル学会 編)、	20、	2014	、p p.172~17 6.
野尻英一	評論(合評会 黒崎剛著『ヘーゲ ル・未完の弁証法』)生命から精神 へ、それは弁証法の失敗なのか 完成なのか、	ヘーゲル哲学研究(日本ヘーゲル学会 編)、	20、	2014	、p p.191~19 5.
松岡健一郎	評論(合評会 黒崎剛著『ヘーゲ ル・未完の弁証法』)、	ヘーゲル哲学研究(日本ヘーゲル学会 編)、	20、	2014	、p p.196~19 9.
湯浅正彦	評論(合評会 栗原隆著『ドイツ観 念論からヘーゲルへ』)「超越論的 観念論」の行方、	ヘーゲル哲学研究(日本ヘーゲル学会 編)、	20、	2014	、p p.181~18 6.
寄川条路	精神の深さ：小島優子『ヘーゲル 精神の深さ：『精神現象学』にお ける「外化」と「内化』を読む、	カルチャー：明治学院大学教養教育 センター紀要(橋本肇教授退職記念号) (明治学院大学教養教育センター編)、	8(1)、	2014	、p p.9~21.

〈2015年〉

片山善博	【書評】ロバート・B・ピピン『ヘーゲ ルの実践哲学 人倫としての理性的 行為者性』星野勉監訳、大橋 基・大藪敏宏・小井沼広嗣訳、法 政大学出版局、二〇一三年 現代 社会におけるヘーゲル実践哲学 の射程、	法政哲学(法政哲学会編)、	11、	2015	、p p.41~42.
栗原隆	評論一(合評会 久保陽一著『生と 認識：超越論的観念論の展開』)、	ヘーゲル哲学研究(日本ヘーゲル学会 編)、	21、	2015	、p p.160~16 4.
権左武志	書評：杉田敦『両義性のポリティー ク』、	週刊読書人、		12月11日 ### 号、	、p4.
渋谷繁明	評論三(合評会 久保陽一著『生と 認識：超越論的観念論の展開』)、	ヘーゲル哲学研究(日本ヘーゲル学会 編)、	21、	2015	、p p.168~17 1.
杉田孝夫	評論一(合評会 石崎嘉彦著『政 治哲学と対話の弁証法：ヘーゲ ルとレオ・シュトラウス』)、	ヘーゲル哲学研究(日本ヘーゲル学会 編)、	21、	2015	、p p.172~17 5.
高田純	評論二(合評会 石崎嘉彦著『政 治哲学と対話の弁証法：ヘーゲ ルとレオ・シュトラウス』)、	ヘーゲル哲学研究(日本ヘーゲル学会 編)、	21、	2015	、p p.176~17 9.
円谷裕二	評論二(合評会 久保陽一著『生と 認識：超越論的観念論の展開』)、	ヘーゲル哲学研究(日本ヘーゲル学会 編)、	21、	2015	、p p.165~16 8.

IV ヘーゲル研究の動向紹介

V ヘーゲルに関する文献目録

〈2014年〉

裕智樹 ヘーゲル日本語文献目録(2012年~2013年)、 ヘーゲル哲学研究(日本ヘーゲル学会編)、 20、 2014 、pp.210~200.

VI ヘーゲルに関する研究資料

〈2015年〉

川瀬和也 フェノロサ講義「哲学史：ヘーゲル論(清澤満之筆記)」(下)、 ヘーゲル哲学研究(日本ヘーゲル学会編)、 21、 2015 、p.205~188.